


ICT 学習支援教材コンテンツ活用実践事例

		学校名	青森県立黒石養護	学校
授業について	教科領域名 (✓又は■で記入する。)	<input type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 算数・数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 外国語・外国語活動 <input type="checkbox"/> 生活 <input type="checkbox"/> 音楽 <input type="checkbox"/> 図画工作・美術 <input type="checkbox"/> 体育・保健体育 <input type="checkbox"/> 技術・家庭 / 職業・家庭 / 職業 <input type="checkbox"/> 特別の教科 道徳 <input type="checkbox"/> 総合的な学習（探究）の時間 <input type="checkbox"/> 日常生活の指導 <input type="checkbox"/> 生活単元学習 <input checked="" type="checkbox"/> 作業学習 <input type="checkbox"/> 遊びの指導 <input type="checkbox"/> 特別活動 <input type="checkbox"/> 自立活動 <input type="checkbox"/> その他（ ）		
	単元(題材)名	製品を販売しよう		
	単元(題材)の目標	会計の計算を間違えずに行う		
学習集団と実態	学部・学年・人数	中学	部 3	年 2 人
	本単元(題材)における学習集団の主な実態	※個別学習の場合は、個人の本単元(題材)における主な実態を端的に記入する。 作業学習の販売活動は学部全体で行っているが、今回対象としたのは3学年の2名の生徒である。学力は、2名とも、小2程度で、加減計算はできるが、乗除計算になると、まだ曖昧さがある。計算機の使用もできるが、〇円×〇個+□円×□個といった連続の計算になると支援が必要になることが多い。		
ICT活用について	使用した支援機器・教材の名称	※使用した ICT 機器（入出力支援装置等）名を記入する。 タブレット		
	使用したアプリケーションの名称	※使用したアプリケーション名を記入する。 レジスタディ		アプリマーク 
	主な活用の用途 (✓又は■で記入する。)	(複数選択可能) <input type="checkbox"/> コミュニケーション支援 <input type="checkbox"/> 活動支援 (<input type="checkbox"/> 情報入手支援 <input type="checkbox"/> 機器操作支援 <input type="checkbox"/> 時間支援) <input checked="" type="checkbox"/> 学習支援 (<input checked="" type="checkbox"/> 教科学習支援 <input type="checkbox"/> 認知発達支援 <input type="checkbox"/> 社会生活支援)		
	ICT活用のねらい	・販売する商品と個数の対応を視覚的に確認しながら行うことで、正しく計算することができ、安心して活動を行うことができる。		
活用の状況と支援	※ICT 活用場面と行った支援について記入する。 ・あらかじめ商品と価格を入力しておくことで、生徒自身が販売する商品を確認することができ、当日の取組に見通しを持つことができた。 ・以前はプリントに書き込みながら、順を追って計算していたが、複数の商品になると、時間がかかったり、生徒が混乱したりすることがあった。アプリを導入することで、商品ごとに購入個数を確認したり、視覚的に入力金額が表示されたりすることで混乱せずに活動に集中することができた。 ・乗法に時間がかかる生徒もボタンのタップで段階的に進むため、落ち着いて計算することができ、お客さんに金額を伝える際も自信をもって話すことができた。			

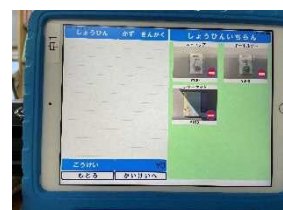


図1 設定画面



図2 活動場面